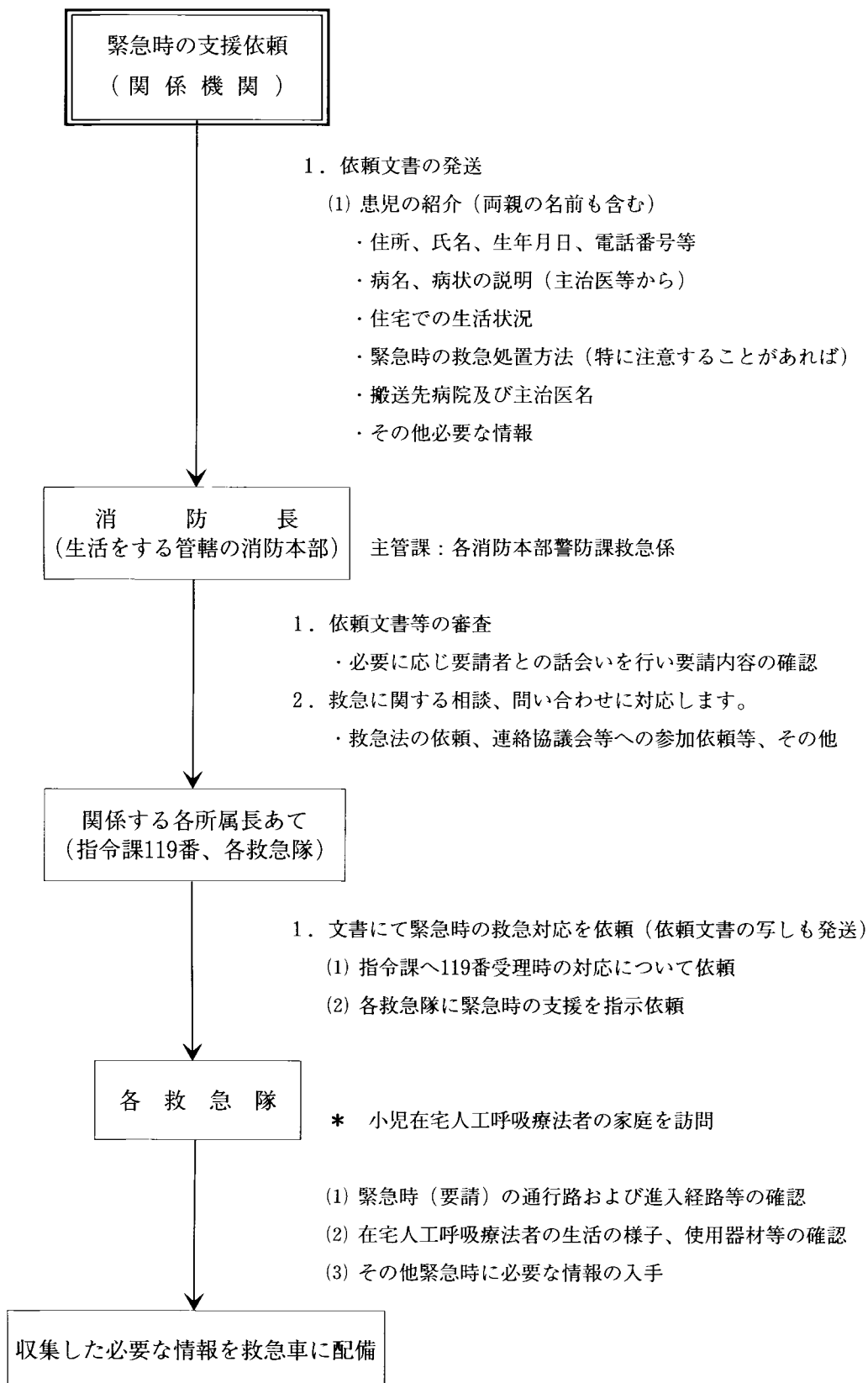


V. 救急隊からの支援

那覇市消防本部救急救命士 玉橋 朝 淳



医療・保健からの支援

救 急 要 請
(事 故 発 生)

* 必要な応急手当てをおこない
救急車の要請をする。

[救急車の呼び方]

119番が通じたら、次のことをあわてないで
はっきり伝える。

- (1)「救急車をおねがいします。
小児在宅人工呼吸療法中の氏名〇〇〇〇、何歳です。」
→ 現在どんな状態であるかを話す。
呼吸、脈拍、意識の有無、その他
- (2)所番地とだれでも分かるような目標があれば、それを付け加える。
- (3)要請者の氏名と電話番号を言う。

救 急 隊 の 到 着

* サイレンが聞こえたら、できるだけ外に出て、大きく手をふって案内する

人を出して誘導する。

[現場に到着した救急隊員に、次のようなことを連絡する。]

- (1)救急隊が到着するまでの容態の変化
- (2)あなたが傷病者のために行った応急手当の内容
- (3)患児についての情報を表(カード)にしていたら手渡す。
- (4)救急車が到着するまでに、搬送先病院(主治医)に連絡が取れたら収容可能についての確認をとる。

救 急 処 置 の 実 施

- (1)必要な救急処置を実施し搬送する。
- (2)車内収容し指令課を通し搬送先病院への連絡または、二次救急病院への手配をおこなう。
- (3)高規格救急車(救急救命士同乗)の場合、自動車電話で二次救急指定病院の医師に対し、高度救急救命処置(特定行為)の指示を受け実施することがある。
(除細動、気管内挿管、輸液)

救 急 病 院 到 着

* 医師への引継ぎ・報告

- (1)現場到着時の状況(バイタルサイン等)
- (2)実施した救急処置等
- (3)その他必要な情報の報告

病 院 で の 救 命 処 置 実 施

小児在宅人工呼吸療法者情報カード

住 所	氏 名	生 年 月 日	電話番号
那 覇 市 アパート			
病 名	症 状 (在 宅 療 法)	緊急時の処置法（救急法）：注意点等	
搬送先（通院先）	主治医名（科目）	そ の 他 必 要 な 情 報 等	
電話			

医療・保健からの支援

～Q&A～

救急車を利用する時

Q1. 救急車の中での医療的ケア（吸引、アンビューバッグなど）は同乗した親でもできますか。

A. 日常、通常に行っている行為であればさしつかえありません。

Q2. 救急隊員はどこまでの医療行為ができるのですか。

A. 救急隊員が実施できるのは医療行為ではなく「応急処置」です。気道確保や酸素吸入などの簡易なもの。血圧測定、聴診、血中酸素飽和度の測定、鉗子等による異物除去などの比較的軽易なもの。また、救急救命士の資格があればできる。電氣的刺激による除細動、静脈路確保による輸液などの高度専門的なもの、などがあります。